

# 図画工作科学習指導案

学 習 者 附属小学校3年1組34名  
指 導 者 伊藤 憲子

## 題材名 これをかきたい

### 1. 題材の目標

- (1) 身近な材料を触ったり組み合わせたりして筆やペンをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じ方に気付き、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことに合わせて表したいことを工夫して表す。
- (2) 材料を触って感じたことや、試してかいた形を見たことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながらどのように表すかについて考えるとともに、実際に使うなどして、自分たちの作品の造形的な面白さ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- (3) 進んで材料を組み合わせつつくったり、かき心地を試したりする活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を想像しようとする。

### 2. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 身近な材料を触ったり組み合わせたりして筆やペンをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。 ② 枝などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	① 材料を触って感じたことや、試してかいた形を見たことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながらどのように表すかについて考えている。 ② 実際に使うなどして、自分たちの作品の造形的な面白さ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。	① つくりだす喜びを味わい、進んで材料を組み合わせつつくったり、かき心地を試したりする学習活動に取り組もうとしている。

### 3. 指導と評価の計画（4時間）

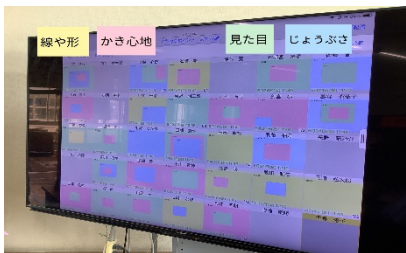
時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）		
		知・技	思・判・表	主体
1	<p>◆身近な材料から筆やペンをつくることについて、材料を触ったり組み合わせたりすることを通して、そこから生まれる様々な色や形に気付くことができるようにする。</p> <p>○身近な材料から自分だけの筆やペンをつくることを確認する。</p> <p>○身近な材料に触れ、触り心地のよさや違いなどを味わう。</p> <p>○材料を組み合わせでどんなペンや筆をつくりたいか想像を膨らませ、全体で交流する。その後、工夫の視点を確認する。</p> <p>○材料を選び、組み合わせで筆やペンを作る。</p> <p>○どんな工夫をしたかを写真に書き込み、ロイロノートに提出する。</p> <p>○どんな工夫があったか、またペンや筆をつくった感想を全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふわふわした綿をスタンプみたいにして筆をつくりたい。</li> <li>・毛糸やたこ糸は同じ糸だけど、触り心地が違うから、かける線も違ってきそうだね。</li> <li>・かき心地がいいペンをつくりたいな。</li> <li>・筆先と柄の部分はどうやってつなごうかな。</li> </ul> </div>	<p>○①</p> <p>〈行動分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>		<p>○①</p> <p>〈行動分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>
	<p>◆身近な材料から筆やペンをつくることについて、材料を組み合わせたり、それに適した接着の方法を選んだりすることを通して、自分の思いに合わせて材料や用具の使い方を工夫することができるようにする。</p> <p>○前時の活動を振り返り、筆やペンを作成する。</p> <p>○児童が持ってくる材料以外にもいろいろな材料を準備しておき、必要に応じて選ぶ。</p> <p>○選んだ材料を組み合わせで筆やペンを作る。種類の違う接着剤やテープを用意し、材料に合わせて選んで使う。</p> <p>○作品ができあがったら、どんな筆やペンをつくったか、友達と交流する。</p> <p>○絵の具を使って試しがきをする。</p> <p>○試しがきをしてうまくいった点、次回改良したい点を、iPadに記録する。</p>	<p>○②</p> <p>〈行動分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>		<p>・①</p> <p>〈行動分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>




	<p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が想像していた線ではなかったな。</li> <li>・壊れてしまったから、もっと頑丈な筆にしたい。</li> <li>・他の組み合わせをやってみたいな。</li> <li>・かき心地がいい筆をつくりたい。</li> </ul> </div>			
<p><b>3 本 時</b></p>	<p>◆身近な材料から筆やペンをつくることについて、改良の視点（線や形・かき心地・見た目・丈夫さ）にそって組み合わせや接着の仕方を考えたり、かける線や形を試したりすることを通して、形や材料などを生かしながらどのように表すかについて考えることができるようにする。</p> <p>○前時の活動をふり返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>○材料の組み合わせを工夫して、かき心地を試しながら筆やペンを作る。</p> <p>○友達がどのような筆やペンをつくり、どんな形や線をかいているのか全体で交流する。また、困りを出し合い話し合ったり、友達の作品を鑑賞したりする。</p> <p>○かき味のよさを確かめたり、柄の部分を工夫したりして、自分のかきたい線や形、かき心地、見た目などイメージに合ったものになるよう改良する。</p> <p>○つくった筆やペンを写真に撮り、工夫した点を書き込みロイロノートに提出する。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思っていたのと違う線の感じになったな。別の材料を使ってみよう。</li> <li>・これとこれを組み合わせたら自分のかきたい線になるかな。</li> <li>・すぐに壊れたから、もっと頑丈にしよう。どんな材料を使えばいいかな。</li> </ul> </div>	<p>・②</p> <p>〈行動分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>	<p>○①</p> <p>〈行動分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>	

	<p>◆身近な材料からつくった筆やペンについて、線や形をかいてかき心地を味わったり、その筆跡を見合ったりすることを通して、自分や友達をつくった筆やペン、かいた線や形のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。</p>			
4	<p>○つくった筆やペンで線や形をかき、自由に表現する。</p> <p>○友達とつくった筆を交換して試しがきをしたり、その筆跡を見せ合ったりして、互いにつくった筆の良さを感じ取れるようにする。</p> <p>○完成した筆やペン、かいた線などを見合い、よさや面白さを味わう。</p> <p>○振り返りを書き、全体で交流する。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>		<p>○②</p> <p>〈記録分析〉</p> <p>〈発言分析〉</p> <p>〈記録分析〉</p>	
	<p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料によって、かける線や形が違っていたよ。</li> <li>・友達のペンを使ってみたら、予想していた線とは全然違うものになったよ。</li> <li>・これからも、絵を描くときにつかいたいな。</li> </ul>			

## 5. 本時の指導（3／4）

<b>本時のねらい</b>	身近な材料から筆やペンをつくることについて、改良の視点（線や形・かき心地・見た目・丈夫さ）にそって組み合わせや接着の仕方を考えたり、かける線や形を試したりすることを通して、形や材料などを生かしながらどのように表すかについて考えることができるようにする。
<b>評価規準</b>	身近な材料から筆やペンをつくることについて、形や材料などを生かしながらどのように表すかについて考えることができる。
<b>具体的な児童の姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思っていたのと違う線の感じになったな。別の材料を使ってみよう。</li> <li>・これとこれを組み合わせたらかき心地がよくなるかな。できたら試しがきをしよう。</li> <li>・すぐに壊れたから、もっと頑丈にしよう。どんな材料や技を使おうかな。</li> </ul>

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
7分	1. 前時の活動を振り返り、本時のめあてを確認する。	<p>○試しがきをして、上手くいかなかったり思い通りの線や形にならなかったりした点を改良しながらつくっていくことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に自分が考えた、改良の視点にそってつくっていくことを確認する。</li> <li>・うまくいかなかったことや、思い通りにならなかったことを共有する。</li> <li>・試しがきをしたり、技（組み合わせ・材料を生かす・接着）を使ったりしながら改良していくことを伝える。また、本時は、4つの視点の中から丈夫さとかける線や形にしばらくを伝え、子供たちが同じ視点で活動に取り組めるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い通りの線がかけなかったな。</li> <li>・もっとかき心地をよくしたい。</li> <li>・すぐ壊れてしまったから、もっと頑丈なものにしたいな。</li> </ul> </div>	
<b>めあて わざをつかったり、ためしがきをしたりして、ペンや筆をかいりょうしよう。</b>			
13分	2. かき心地を試しながら筆やペンを改良する。  	<p>○かき心地を試しながら筆やペンを改良することを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が持ってくる材料以外にもいろいろな材料を準備しておき、必要に応じて使えるようにする。</li> <li>・前時までにはロイロノートに提出した友達の工夫は、iPadで自由に見られるようにする。</li> <li>・つくった筆やペンのかき心地を試す場所を設定し、試しがきをしながら改良できるようにす</li> </ul>	iPad 材料 （ストロー 綿・クリップ ・たこひも ・毛糸・モール ・ビニールテープ ・木工用ボンド・

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試しがきは、廊下に用意した紙にかくようにし、友達の試す様子が自然に鑑賞できるようにする。試しがきの紙は、模造紙と小さめの紙を用意し、自分の筆やペンに合わせて選べるようにする。試しがきをした後は自席に戻ってさらに改良していくことを伝える。</li> <li>・試しがきの絵の具については、赤・青の2色を用意し自分のイメージに合った色を選べるようにする。</li> </ul> <p>※活動に取り組めない児童に対しては、積極的に友達の様子を見たり、iPadで確認したりするよう声をかける。</p>	<p>化学接着剤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具 (赤・青)</li> <li>・試しがき用模造紙・紙</li> </ul>
<p>5分</p>	<p>3. 友達がどのような筆やペンをつくり、どんな形や線をかいているのか全体で交流する。また、困りを出し合い話し合ったり、友達の作品を鑑賞したりする。</p> 	<p>○児童の活動の様子や作品、かいた線や形を写真で紹介する。<del>また、工夫している点や、自慢したい点などを紹介する。また、活動する中での困りがある場合には、アドバイスを伝える。</del></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadで、児童が制作する様子を写真に撮っておく。</li> <li>・活動をする中で困っていることを出し合う。困りがある子供がいるグループについてはグループで話し合い、なければ友達がどんな改良をしているのか見合う。</li> </ul>	
<p>15分</p>	<p>4. かき心地を確かめたり、うまくいかなかったところをさらに改良したりする。</p>  	<p>○かき味の良さを確かめたり、話し合いや鑑賞の時間を生かしたりして、かきたい線や形、かき心地、見た目など自分のイメージに合ったものになるように、さらに改良していくよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のイメージにそったペンや筆になっているか、児童に声掛けをする。</li> </ul> <p>◎身近な材料から筆やペンをつくることについて、形や材料などを生かしながらどのように表すかについて考えている。</p> <p style="text-align: center;">〈行動分析・発言分析・記録分析〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の組み合わせをかえて試しがきをしたら違う線や形になったよ。</li> <li>・もう少し綿を増やしたほうが、かき心地がいいね。</li> <li>・ビニールテープを使ったら、頑丈になった。</li> </ul> </div>	<p>iPad</p>

3分	5. つくった筆やペンを写真に撮り、ロイロノートに提出する。	<p>○つくった筆やペンを写真に撮り、ロイロノートに提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェットティッシュを用意し、すぐに iPad が使えるようにする。</li> <li>・つくった筆やペンを写真に撮り、改良の視点に沿って工夫したことを書き加えてロイロノートに提出する。</li> </ul>	iPad ウェットティッシュ
2分	6. 本時の振り返りを行う。	<p>○実際に筆やペンでかいた線や形を楽しんでいる子供たちの様子にもふれ、筆やペンそのものではなく、かけた形や線の面白さにも気づくことができるようにする。</p> <p>○<del>筆やペンを改良して思ったこと、気付いたこと、感じたこと等を発表し全体で交流する。</del> 自分のイメージ通りの丈夫さになったか、またかきたい線や形になったかを振り返る。</p> <div data-bbox="719 712 1347 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は、つくった筆やペンで線や形を自由にかき、かき心地を楽しんでみたい。</li> <li>・友達のペンも使ってみたいな。</li> </ul> </div> <p>・次時は、自分でつくった筆やペンの他に、友達がつくった筆やペンを借りて線や形を自由にかき、線や形、かき心地などを味わうことを伝える。</p>	